

八千代市環境経営レポート

(令和2年度実績)



市役所本庁舎グリーncカーテン



東消防署の太陽熱利用ボイラー



八千代市

目次

八千代市環境経営レポートの位置づけ	1
第1部 組織の概要・環境方針	
1 組織の概要	
（1）八千代市の概要	2
（2）エコアクション21認証・登録内容	2
（3）環境経営管理推進組織図	4
2 環境方針	5
第2部 環境目標及び環境活動計画・実績・見直し	
第1章 環境目標及び環境活動計画	6
第2章 環境目標の実績及び評価	
1 自らの環境負荷を低減させる取り組み	
（1）エネルギー等利用状況調査結果報告	7
（2）温室効果ガス排出量	9
（3）グリーン購入の推進	9
（4）再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入	10
（5）業務における取り組み	10
2 参考資料	
（1）温室効果ガス排出量の算定に関する排出係数	11
（2）八千代市の一般廃棄物における廃プラスチック類割合の年度推移	12
（3）八千代市の気象	12
（4）八千代市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）における 28の取組項目	13
3 地域の環境保全・創造に向けた取り組み	14
第3章 代表者による全体の評価と見直し・指示	16
第3部 環境関連法規の遵守状況	
（1）環境関連法規等の取りまとめ一覧表	17
（2）違反、訴訟等の有無	20
（3）化学物質等の管理	20
第4部 各所属における環境活動目標と達成状況の自己評価	21

八千代市環境経営レポートの位置づけ

本市における「エコアクション21」は、地球温暖化防止対策推進法（以下、温対法）」に基づく「八千代市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を効率的に実行するための八千代市環境経営システムとして位置づけており、温対法に係る報告について、第2部でまとめています。

第 1 部 組織の概要・環境方針

1 組織の概要

(1) 八千代市の概要

昭和 42 年 1 月 1 日に市制を施行した八千代市は、日本の大規模住宅団地の発祥の地である八千代台団地（昭和 32 年完成）の造成を契機に大規模団地の建設が進み、昭和 50 年の国勢調査では、人口 10 万人以上の市で全国一の人口増加率を示しました。一時は全国で有数の人口急増都市になりました。

市の北側半分は、下総台地の緑豊かな自然があり、南側半分は、森を残し、緑の景観に配慮した市街地が形成されています。

また、市の中央には八千代市のシンボル「新川」が南北に悠々と流れ、人々は釣りや散策を楽しんでいます。八千代市は、首都 30 km 圏の位置と交通の便、自然環境の良さから首都圏のベッドタウンとして急激に発展してきました。平成 8 年 4 月、都心に直結する東葉高速鉄道が開通し、新しい駅を中心に開発が進められ、今後もさらに発展が見込まれています。

八千代市第 4 次総合計画において、八千代市の将来都市像を「快適な生活環境とやすらぎに満ちた都市 八千代」と定めて、この将来像を実現するために 6 つの柱をたてまちづくりを進めています。

1. 健康福祉都市をめざして
2. 教育文化都市をめざして
3. 環境共生都市をめざして
4. 安心安全都市をめざして
5. 快適生活都市をめざして
6. 産業活力都市をめざして

表 1 八千代市の人口等（令和 3 年 3 月 31 日現在）

人口・世帯数	202,561 人（男：100,055 人、女：102,506 人）・92,649 世帯
面積	51.39 km ² （東西 8.1 km、南北 10.2 km）

(2) エコアクション 2.1 認証・登録内容

①認証・登録番号：0003458（認証・登録期間：平成 21 年 3 月 30 日～令和 3 年 3 月 29 日）

②認証登録事業者：自治体名 八千代市役所

代表者 八千代市長 服部 友則

③所在地：千葉県八千代市大和田新田 312-5（TEL 047-483-1151）

④総括環境経営管理責任者：八千代市経済環境部長 石川 一俊

⑤環境経営管理事務局：八千代市経済環境部環境保全課環境政策室

⑥事業活動の内容：八千代市の行政活動

⑦レポート対象期間：令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

⑧事業の規模：i. 予算額 58,250,000 千円（令和 2 年度一般会計当初予算）

ii. 職員数 1,284 人（令和 3 年 3 月 31 日現在、特別職 4 人を含む）

iii. 対象施設 116 施設（令和 3 年 3 月 31 日現在）表 2

iv. 延べ床面積 371,588.45m²（令和 3 年 3 月 31 日現在）表 3

⑨レポート発行日：令和 4 年 2 月 22 日

⑩業種別ガイドライン：地方公共団体向けガイドライン 2009 年版

表2 認証・登録の対象施設一覧

全組織・全活動を対象としています。

市長部局		
<ul style="list-style-type: none"> ・八千代市役所（本庁舎） ・多文化交流センター ・市民活動サポートセンター ・支所、連絡所（6か所）・パスポートセンター ・市営霊園 ・保健センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉センター ・児童発達支援センター ・保育園（8園） ・児童会館（1館） ・子ども支援センターすてっぷ21（2か所） 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター ・消費生活センター ・衛生センター ・清掃センター
(指定管理者制度導入施設)		
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉センター ・ふれあいプラザ ・総合生涯学習プラザ ・市民ギャラリー ・図書館 （3館：中央，勝田台，緑が丘） 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合グラウンド ・市民会館 ・八千代台文化センター ・勝田台文化センター ・市民体育館 ・八千代台近隣公園小体育館 	<ul style="list-style-type: none"> ・勝田台中央公園小体育館 ・八千代ふるさとステーション ・やちよ農業交流センター
教育委員会		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会庁舎 ・郷土博物館 ・小学校（22校） ・中学校（11校） ・少年自然の家 ・教育センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・適応支援センターフレンド八千代 ・青少年センター ・給食センター村上調理場 ・公民館（9館） ・八千代台東南公共センター ・図書館（2館：大和田，八千代台） 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化伝承館 ・「ガキ大将の森」キャンプ場 ・上高野多目的グラウンド （PFI導入施設） ・給食センター西八千代調理場
消防本部		
<ul style="list-style-type: none"> ・消防本部庁舎 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央消防署 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署（4か所）
上下水道局		
<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道局庁舎 ・浄水場（6か所） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場（2か所） 	

※施設の名称は、令和3年10月発行の「八千代市市民便利帳2021・2022」を参照。

表3 認証・登録対象範囲施設の延べ床面積一覧

施設名	面積（㎡）	施設名	面積（㎡）
本庁舎	13,480.01	公民館・公共センター(10)	5,716.79
支所・連絡所(6)・パスポートセンター	682.59	図書館(5)	9,068.02
保育園(8)・児童会館等(3)	8,648.70	学校給食センター(2)	7,616.20
保健センター	1,977.38	上下水道局(浄水場等9か所)	7,807.98
清掃センター	11,514.75	消防本部・消防署	8,231.35
教育委員会庁舎	2,959.90	福祉施設	4,610.29
小・中学校(33)	219,803.29	生涯学習施設	36,036.42
教育委員会施設	6,535.05	その他	26,899.73

※「建物財産明細台帳」より（令和3年3月31日現在）

(3) 環境経営管理推進組織図

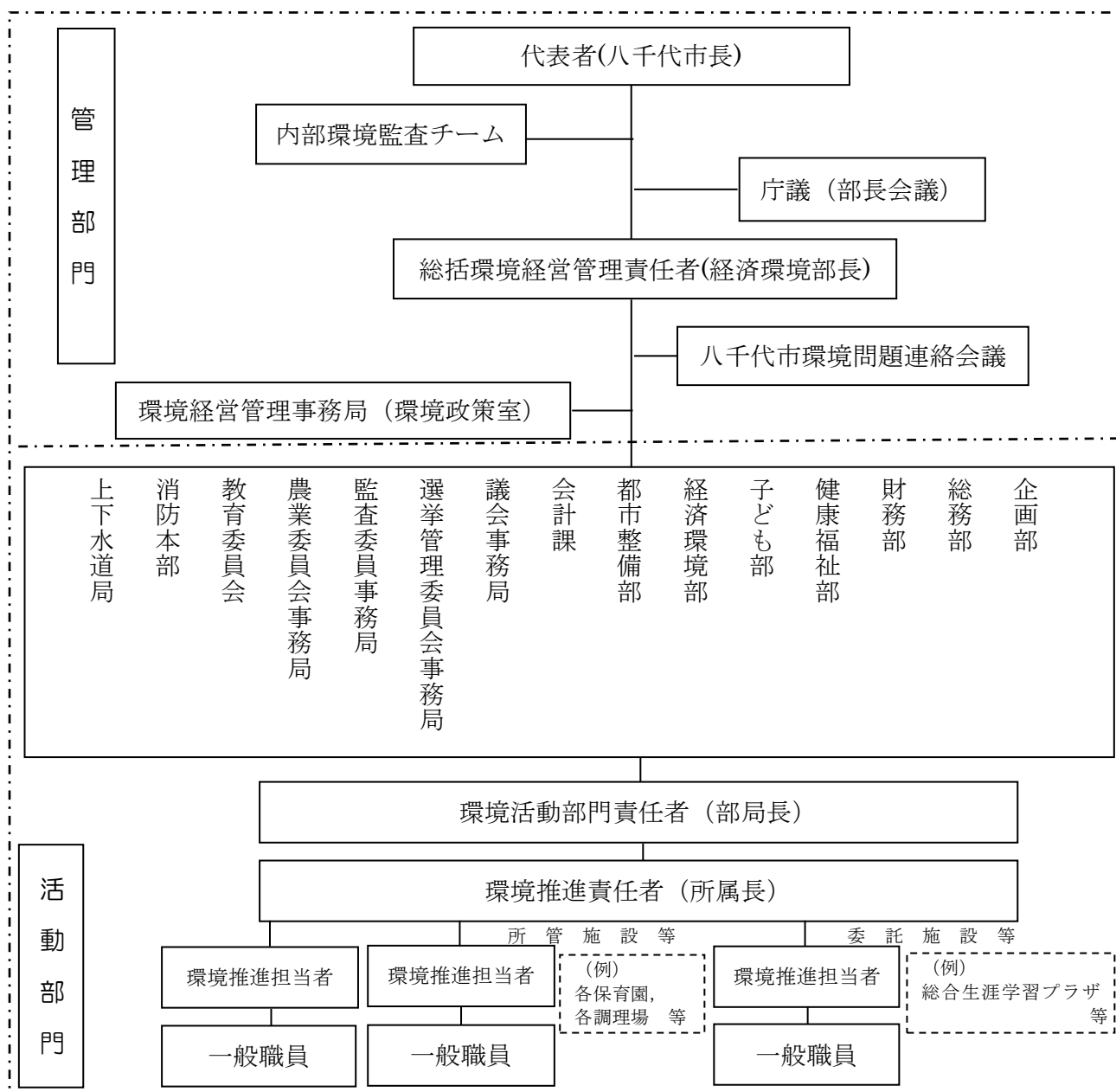


図1 環境経営管理推進組織図

- ① 環境経営管理推進組織は、管理部門および活動部門で構成する。
- ② 管理部門は、次に掲げる者および組織で構成する。
 - ア 代表者（市長）
 - イ 内部環境監査員（次長級）
 - ウ 庁議（部長級）
 - エ 総括環境経営管理責任者（経済環境部長）
 - オ 八千代市環境問題連絡会議
 - カ 環境経営管理事務局（環境政策室）
- ③ 活動部門は、次に掲げる者で構成する。
 - ア 環境活動部門責任者（経済環境部長以外の部局長および経済環境部次長）
 - イ 環境推進責任者（所属長）
 - ウ 環境推進担当者（各部署1名）
 - エ その他全職員（再任用・臨時職員等を含める）

2 環境方針

1 基本理念

八千代市第2次環境保全計画に掲げる「自然と人の暮らしが持続的に調和するまち～次世代に、快適な環境を継承するために～」を環境の基本目標として、私たちは日常の生活や都市活動のあり方を身の回りから見つめ直す必要があります。さらに、緑ゆたかな八千代において人と自然が共生し、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を目指していくためには市民・事業者・行政などさまざまな主体の連携が必要です。

そこで、持続可能な循環型社会を形成するため、あらゆる施策に「環境」の視点を取り入れ、職員一人ひとりが計画の実践を通して環境保全意識の向上を図りながら取り組みを推進すること、そして、市民・事業者による環境保全行動を促進する取り組みを推進することを基本理念として掲げます。

2 基本方針

基本目標の実現に向けて4つの基本方針を掲げ、環境先進都市づくりを推進します。

- (1) 持続可能な循環型のまちをつくる
- (2) 安心・安全な生活環境を保全する
- (3) 自然と共生するまちをつくる
- (4) 市民・事業者とともに実践する

3 基本的な取り組み

基本方針に沿って、次のことに取り組みます。

- (1) 自らの環境負荷を低減させる取り組み
 - ① 電力・燃料の消費及びごみ焼却等に伴う二酸化炭素等温室効果ガス排出量の削減
 - ② 4R(リデュース, リユース, リサイクル, リフューズ)の推進
 - ③ 水資源の節減
 - ④ グリーン購入の推進
 - ⑤ 公共施設における再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入・利用の推進
- (2) 地域の環境保全・創造に向けた取り組み
 - ① 生物多様性保全の推進
 - ② 地球温暖化対策の推進
 - ③ 地球環境にやさしい人づくり(環境学習)の推進
- (3) 環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、環境汚染の予防に努めます。
- (4) 環境方針及び環境への取り組み等を環境活動レポートとして取りまとめ、全職員に周知するとともに、広く一般にも公表します。



平成30年3月20日

八千代市長 服部友則